

令和6年度(第3回)県政モニターアンケート集計結果

〈生涯学習について〉

【調査の目的】

近年、少子高齢化による労働力人口の減少、科学技術の高度化や経済のグローバル化など、社会や経済が大きく変化し、私たちがいきいきとした生活を営むためには、これまでの趣味・教養や知識の習得だけでなく、職業上の能力を経済的に高めていくことや地域社会の課題に地域で対応できる能力を身につける必要があります。

このように、社会の変化にともなって生涯学習に求められるものも変わっていく中、更に生涯学習を推進していくための施策検討のため、生涯学習に関する皆さんの現状やご意見をお伺いし、参考とさせていただきます。

(人づくり・県民生活部 私学振興・青少年育成局 青少年政策課)

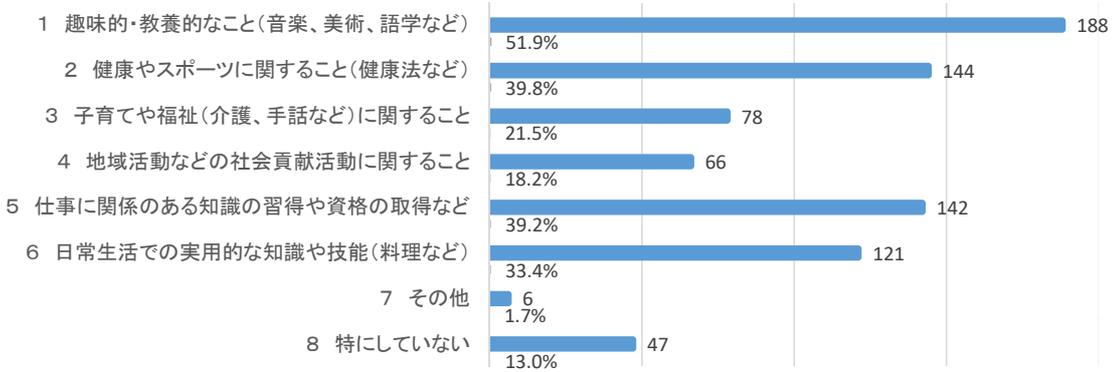
※生涯学習とは

人々が自発的意思に基づいて、「自己の充実」、「生活の向上」、「職業能力の向上」のために、自ら学ぶ内容を選び取り、充実した人生を送ることを目指して生涯にわたって行う学習のことです。

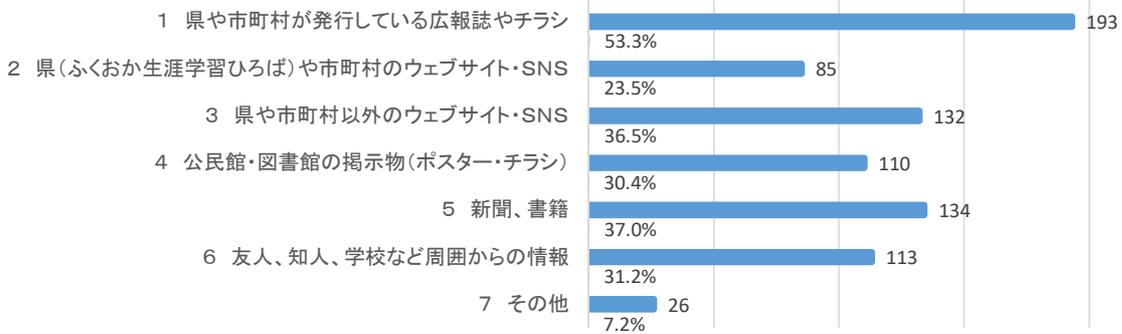
※1 回答者数: 362人

※2 問1～問6まで複数回答可

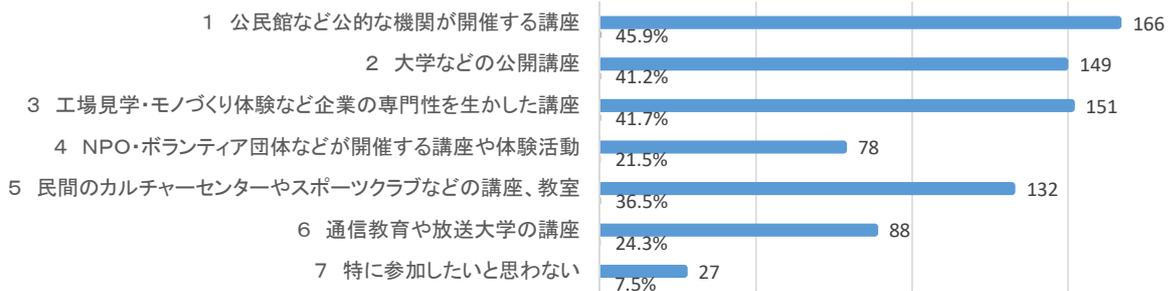
問1 この1年間に次のような学習をしたことがありますか。 回答件数 792



問2 生涯学習を行う場合、どのように情報を入手していますか。 回答件数 793



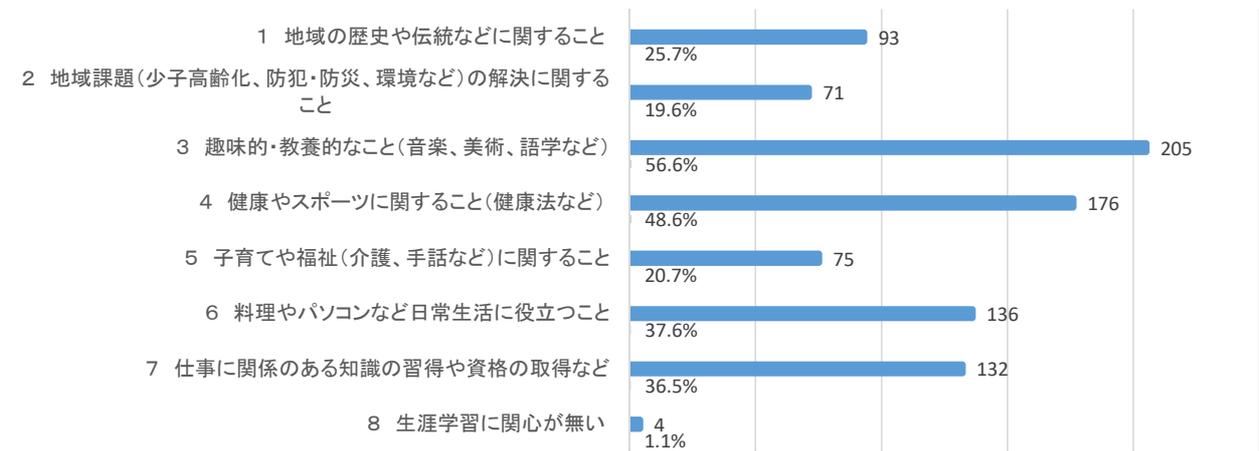
問3 今後学習を行う場合、どのような講座(オンライン講座含む)に参加したいと思いますか。 回答件数 791



問4 今後学習を行う場合、どのようなことを学びたいと思いますか。

回答件数

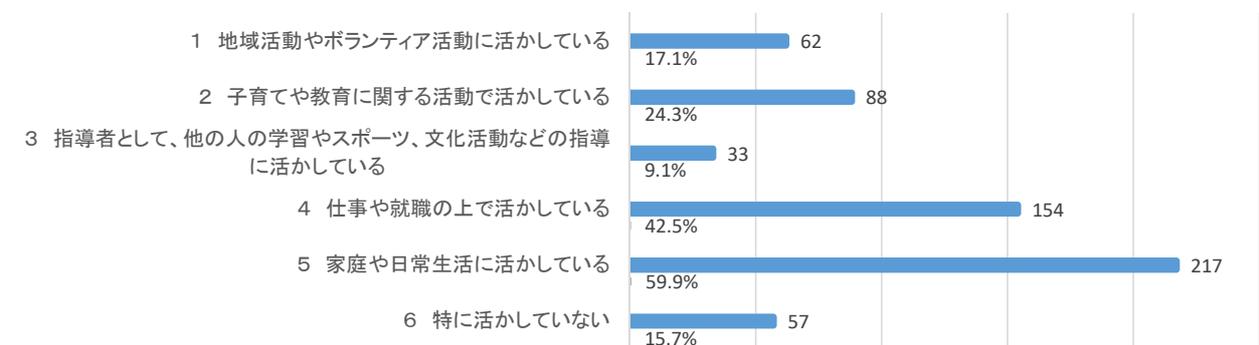
892



問5 学習によって身につけた知識・技能や資格をどのように活かしていますか。

回答件数

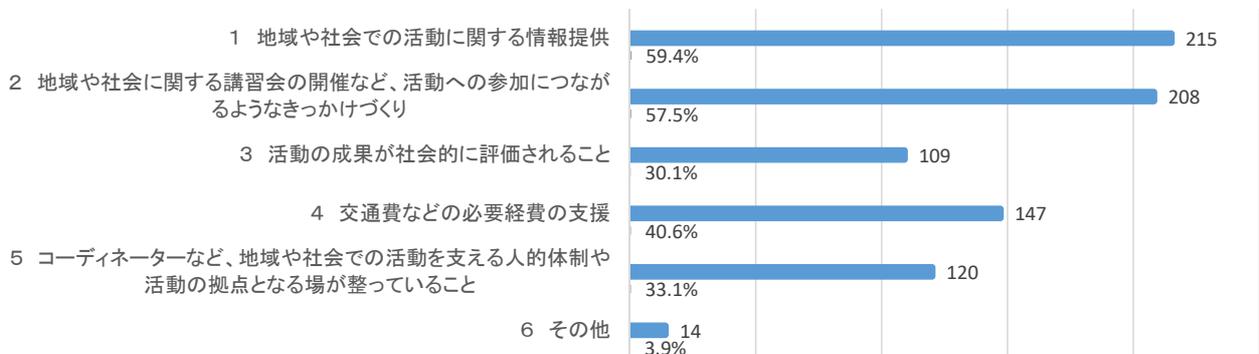
611



問6 多くの人が地域や社会への活動に参加するようになるためにはどのようなことが必要だ
と思いますか。

回答件数

813



【その他】※抜粋

- ・参加者の数や年齢層を広げるようなコンテンツの工夫
- ・初めてでも参加しやすいコミュニティの雰囲気づくり
- ・幼少期からの教育
- ・時間、精神的な余裕

問7 生涯学習について、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。※抜粋

回答件数 135
回答率 37.3%

○地域貢献・社会貢献活動

・生涯学習で自分の知識を増やしていきたいと思う。とくに地域貢献ができればと思う。(20代/男性)

○地域社会との関わり方

・生涯学習のメリットは多くあるだろうが、個人レベルの自己肯定感や満足感、さらにはキャリア向上といった点だけでなく、これからは社会的つながりの強化に結び付くことが期待されるであろう。今この地域社会でもさまざまな機能を通じて社会的な孤立を減少させることが必要であると思われる。(50歳以上/男性)

・地域の人とのつながりを深め、皆が学びやすい環境作りをする。(70歳以上/女性)

・退職し時間に余裕がある人の中には、自分の能力、技術などを地域社会に生かしたい人もかなりいると思う。地域で募集などをするとよいと思う。(60代/男性)

○生涯学習に取り組める環境づくり

・気になる生涯学習があったとしても、大抵が住まいから遠方のためまずはそこまで行こうという気になりません。オンライン学習が増えれば良いなと思います。(30代/女性)

・生涯学習を行っている市民センターが山の頂上にあるので、私の勤務先の近所の高齢者達はみんな口々に「あんな所まで歩いては行けない」と言っています。避難所にせよ、生涯学習の場にせよ、市民のために考えて建てたとは思えません。
市民が行きやすい場所を作ってほしいです。(60代/女性)

・特に現役世代では、仕事・家庭・介護・趣味その他に追われ、時間や気力に余裕が無い方も多いのかなと感じました。毎回は参加できなくても、興味のあるものに関しては出来るだけ参加したいという方もいると思うので、やはり開催場所や時間、情報発信は重要だと思います。
開催場所に関して、徒歩や自転車で行ける範囲、または公共交通機関を使って通いやすい所が有難いです。仕方のないことですが、講座の数や内容に関して、地域差が大きいと感じます。(30代/女性)

・生涯学習にとっても興味があります。歩いていける場所、市民センターなどを会場にいただけると、是非参加したいです。(70代以上/女性)

・遠隔地に暮らしているので、もう少しリモートで受講できる講座が増えるとありがたいです。(40代/男性)

・高齢者は行政区が違っていても、徒歩圏内に学びの場があると良いです。
また、受講料がワンコイン(無料だとかえって不安)で参加できるのが理想です。(60代/女性)

・インターネットを活用した学習講座があれば、手軽に参加できる。(60代/男性)

・生涯学習をしたくても若い世代の方は、時間的な余裕がない方も多いように思います。なので、実際にやって良かったという具体的な体験を発信していただくとイメージが湧いて、やってみようかと思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ピンとこない方も多いかもです。
また、高齢者は参加したくても、年金生活者は経済的に厳しい面がありますので、ご配慮いただくと参加者が増えるかもしれないと思います。(60代/女性)

・参加してみたい公民館のイベントも託児がなくて諦めたりしている。子連れでも参加できる勉強会などがあれば子供が就学後にも活かされていると思う。(30代/女性)

・年齢と共に持久力に自信がなくなっているので浅く広く参加出来れば有難く思います。(70代/女性)

・子がいなときは仕事に追われ、子が生まれてからは時間に追われて学習する機会が無いです。
学習センターが近所にあるものの、そこには託児所がついていないので難しいなど問題があります。学習センターにはどの場所にも有償でもいいので託児所を備えて欲しいです。(30代/女性)

・高齢化社会に人との交流という点も含め、安い費用で学習できると魅力的である(40代/女性)

・子連れでも参加出来る体制があると良いと思います。(40代/女性)

・ワークショップなどがどこでどのような形でやっているのか簡単に知る方法があれば嬉しい。(30代/男性)

- ・身近すぎると参加しづらいので、県内のどこでどのようなことが行われているか知りたい。(40代/男性)
- ・週末の活動やイベントに参加したいと思っても、何歳以上と制限があるものが多く夫婦でシフト制の仕事であると、子供が多いと下の子は連れて行けないから行けないな、となる事がある。託児ありのイベントを増やして欲しい。(30代/女性)
- ・参加してみたいけれど、きっかけもなく、勇気が出ないという人も多いと思うので、「気軽に参加しても大丈夫だと思わせる体制作り、きっかけ作り」が大切だと思います。(20代/男性)
- ・決まった場所へ出掛ける事など、交通手段が無い事が多いので、オンラインなどでの講習会や講演会など開催して頂けたらと思います。(70歳以上/女性)
- ・それぞれの趣味や特技を公民館や集会所など近くで公開する場を提供し、自分にあったものを選択して社会性を高め町や市、県をいきいきした場にする。生きてる間はずっと学びの精神があるのだから生涯学習の場をひろげること、選択肢が多くなるようにすることが必要だと思う。場合によっては子供から大人へ大人から子供へと学びのスタイルを変えていけるような仕組みがあると良い。(40代/男性)

○生涯学習機会に関する要望

- ・生涯学習に参加したくても、開催回数や種類が少なく、参加できていない。(50代/女性)
- ・自分が好きな事を学習をすることで色々な方と接する機会が増え、豊かな人生を送れる可能性が広がるので、今後も積極的に色々な事を学びたいし、学ぶキッカケ作りをこれからも提供してもらいたい。(40代/男性)
- ・カルチャーセンター等の案内を見ても、女性向けのものが多く、男性向けはあまりないと思う。全般的にそういった傾向があるので、とっつきにくいという事はある。(70歳以上/男性)
- ・在住エリアでは、高齢者向けや子供むけの生涯学習イベントなどはよく開催されていますが、若い世代に向けての取り組みがかなり少ないと思います。働きざかり世代は仕事や家庭のことに追われて時間がいないため、参加率が低くフォーカスされていない現状があるとは思いますが、生涯学習に興味のある方たちも大勢いると感じます。土日やアフター5などの時間を使ったり、キーになるゲストを呼ぶなど、もっとミドルエイジに働きかけるような仕組みを増やしていけば、推進率も上がっていくと感じます。(40代/女性)
- ・特にありませんが、若者も参加出来る様な講座を増やすべき。(50代/男性)
- ・高齢社会のため生涯学習は重要な課題と思います。私は生涯学習の場に注目しました。高齢者が増加している現状に比べ学習、運動、交流の場所が少ないと感じます。各小学校区にある公民館だけでは足りないと思われるので、今後は多世代で集える開放的で広い施設を増やして参加者が増えることで生涯学習としての成果を期待出来るのではないかと考えます。(60代/男性)
- ・興味があることなら人は動くので、たくさんのチャンスを公民館や放課後の学校やイベントスペースにバラ撒いていけばOKだとも思います。無料でなく必ずながしかの料金をはらわせて。タダですることは覚えませんが、続きませんし熱がわかきません。手の届く金額でないとこまりますが(笑)お役所のすることは人の集まっている所でどんな事がしたいですか?とたくさんいろんなところで投げかけてその提案の中でおもしろいなと感じた方たちがリーダーとなって実現していける事だとも思います。お役所仕事で手を出す人はいません。(70歳以上/女性)
- ・私の場合、2年前から地域活動や講習会等に参加するようになりました。きっかけは仕事を退職して時間に余裕が出来た事です。仕事や家庭の事で手いっぱいになり、なかなか参加しようとは思えませんでした。優先順位の使い方を間違ってたかもですが…私のような方もたくさんいらっしゃる気がします。気軽に参加できる仕組み、ネット学習等を取り入れるのも良いのではと思います。(60代/女性)
- ・公民館の語学講座などの教養ものは、学習を深めるというよりも友好第一のような印象を受ける。それはそれで存在意義があると思いますが、もう少し深めようという人のために、区単位で少しレベルアップしたものがあればと思います。(60代/男性)
- ・どしどし色々な活動の情報提供をしていただきたいです。(60代/女性)
- ・福岡県内の人で具体的事例をたくさん知りたい。シニアライフの過ごし方の指針になる。(60代/男性)
- ・公的な講座はよく参加しています。もっと掘り下げたり、視野を拓げるため大学の生涯学習講座にチャレンジしたいがあまり無いのと講座料が高いので考えてしまう。(60代/女性)
- ・公民館の公開講座に参加してみたいが、参加者の年齢層が高めのような気がしてあまり気が進まない。若者向けなど年齢を区切って募集してもらえれば参加しやすい。(20代/女性)

・受講料のいらない講座をもっと増やして公民館など近くでも受けれる様にして欲しいです。
市内にある老人福祉センターは交通費だけで色々な、学びが出来て友達も出来て楽しめますが受講生が多くて抽選。

もっと簡単に習えたら良いのに。(70歳以上/女性)

・無料の講座を増やしてほしい。(60代/女性)

・学習できる講座等が、実施されているという情報が不足していると思う。(50代/女性)

・職を持つ人のために、夜間や土日に行われる講座を増やして欲しい。(50代/女性)

・費用を極力抑えてほしい。やりたくてもお金が無くてできず諦めることがよくあるから。(10代/女性)

・地域では高齢化が進んでいます。

高齢者が健康を維持するために運動や講座に参加するには、遠くまで行くのではなく、自分が住む地域(近く)で開催される必要があると思います。

ですので、もっと小さい単位で身近でいろんなことを学べたり、参加できるようになって欲しいと思います。(50代/女性)

・生涯学習が大切なことはよくわかるが、知識だけで、理想論になって実戦に使われていない気がする。
即戦力になる講座を増やして、地域活動に永続的にエネルギーを向けて欲しい(40代/女性)

・これから高齢化が進む中で、スマホ、マイナンバーなどネット系が進化しています。

世の中が便利になっていきますが、ついて行けない人が増えていくのを自分も含めて感じています。

なので、生涯学習とは違っているかと思いますが、「やり方が分からない」「忘れてしまった」という場合に、もっと身近に教えてもらえる機会が増えるといいな、と思います。(50代/女性)

・生涯学習…小さな子供がいて参加するのが難しいのでweb開催をやって欲しい！(40代/女性)

・仕事をしていた時は、地域や社会への参加はほとんどできませんでした。働く方への参加について、もっと有効的な取り組みが必要だと思う。(60代/女性)

○参加したい講座や希望する講座のあり方

・YouTubeライブで当日映像を流し、後日も見れるように生涯学習に特化したYouTubeチャンネルも立ち上げる。人を集めることが目的ではなく、学習してもらうことが目的なのであれば、今までのやり方は捨てた方が良いと思う。(50代/男性)

・自己啓発系の生涯学習団体は、宗教団体と間違われるイメージがある。

善良な生涯学習は、公もいっしょに紹介する機会を作り、より良い生き方をする人間が増えるようにしてほしい。(40代/男性)

・中年男性向け講座が沢山あればと思う。例えば「野球ソフトボールで久しぶりの運動」「父親が作る子供のための工作講座」「単身者向け簡単ヘルシー料理講座」「離婚後男性向け将来の不安解消講座」。平日実施があればなお良い。(40代/男性)

・たくさん公開講座等あっているが、日々の生活が精一杯でなかなかそこにたどり着く気持ちの余裕が無いのが現状です。

もっとカジュアルで若い方が参加しやすいテーマの公開講座等で気を引いていくと良い気がします。(60代/男性)

・もっと種類があってもいいのでは？(50代/女性)

・税制や補助、NISAなどの資産運用などの、金銭に関わる内容を開催して行くべきだと思う。

国からは自立を求められており、老後資金は個人で用意していくこと的前提が色濃くなっている。税制について細かく学習する機会が義務教育では無い。給与をもらい始めた上で自活していくには、公共の補助を活用するにはということ学ぶことで、生活に余裕ができ、社会貢献について考える余裕が出てくると思う。今はその余裕がない人が多い社会になっている。生涯計画を立てる上でも必要な知識を得ることで、政治に興味を持ち、自分たちの日本をどうしていきたいかを考えるきっかけとなると。(30代/男性)

○関係機関との連携

・民間との提携の拡充。(60代/男性)

・民間企業と連携して各種の講演等を開催したらいいと思います。会場は小規模や大規模の会場で毎月、1回でいいから開催したらその後も学習意欲が増すのではないかと思います。(70歳以上/男性)

・前提を覆すようで申し訳ないのですが、私は必ずしも全ての人が地域社会に積極的に参加する必要はないと考えています。例えば私の祖母は敬老会などの催し物が嫌いで、生涯家庭や親しい方の狭い交友関係で満足していました。私も似た考えです。

ですので、集まって行う講座だけでなく、個人のペースで進められる通信教育のような学習機会を充実させていくのはどうでしょうか。今はネットが普及していますので、オンライン学習ならば自治体の壁を越えて学ぶことも容易です。県独自で行うことも大切ですが、自治体同士が連携して大きな生涯学習のプラットフォームを作っていくべきと考えます。(40代/男性)

・生涯学習には、無形文化財に触れるものも実施されていると思いますが、後継者不足等が問題になっているのも、直接肌で触れる時間が少ないからだと思います。子供たちに無形文化財を知ってもらうために、文化財と触れあえる機会が無料招待で行われていることは素晴らしいと思います。けれど、都市圏が多いので、自治体と組んで、ブロックごとにもっと地方での機会を増やしてほしいです。(40代/男性)

○学んだ成果の活用

- ・正直に言って、県が開講している講座等の魅力が低い。有名人が必ずしも良いわけではないが、色々なレベルを設けてまずは参加させる仕組みを作るべき。
また習いばなしにせず、それを地域や自身の仕事につなげるように促すことも必要。例えば、学習の後にインターネットなど実地でそれを生かすような講座を設けるなど。(60代/男性)
- ・学んだことをアピール&評価される場があればモチベーション上がりそう。(40歳以上/男性)
- ・学習だけでなく、学んだことを披露、もしくは活かせる場を提供することのほうが重要だと考えます。
学ぶことはインターネットが普及し、情報にはいつでも誰でも平等にアクセスできる一方で、得た知識や技術を伝えたり、知ってもらえる場は限られている、もしくは一部の人にしか情報が伝わっていない。
学習はアウトプットしてこそ価値があるもので、そのような機会を増やせば、結果的に学習に取り組む人を増やすことにもつながると考えます。(30代/男性)

○行政に望む施策・支援

- ・「多くの人が地域や社会への活動に参加するようになるため」の意見を記載します。
活動に参加した場合、住民税などの県や市に納める税金を軽減する制度を設ければ参加者が増えると思います。(60代/男性)
- ・年齢を重ねるにつれ情報収集能力に欠けます。
これらの方の参加を増やすには市町村の活動情報も大事だと思います。(70歳以上/男性)
- ・きっかけが中々無いので行政の方で講習会等を開催してほしい。(70歳以上/男性)
- ・以前「男の料理教室」の講座を受講したことがあります。たまたま別の機会でその建物に入館したことがきっかけでした。楽しく身になる講座でした。それだけにやはり、情報提供が少なく、もっとたくさんの人に知ってもらいたいと感じました。(50代/男性)
- ・自宅から出ないで過ごす方もいますので、町から体操などの健康イベントをたくさん発信してほしいです。(40代/女性)
- ・私のような65歳以上の高齢者の場合、生涯学習として民間の教育機関を利用する際に、学習費用の援助などが受けられると大変ありがたいです。(60代/男性)
- ・生涯学習を経験することにより、実社会の様々な問題や社会参加への意欲増加に繋がる事例の提示。(60代/男性)
- ・コンテンツが若者に響く内容になるよう高校生大学生等の意見を参考にすべきでは。(30代/男性)
- ・私の知るところでは、生涯学習はコストもかかるので、場所・施設の提供は行政が行い、その他のコストは受益者である受講者負担にしたいと思っています。内容も負担金に応じた内容でいいと思います。勿論無料の講師の方がおられれば、次の機会に負担金を使えれば幸いです。(60代/男性)
- ・学習に使用した書籍を処分することが多いです。図書館での買取制度などあれば、図書館の書籍の充実にも寄与するし、学習者にとっても新たな書籍代を得ることができるので、好循環になるかと思っています。(40代/男性)
- ・地元、地域、地元の学校出身で、何かを成し遂げた人の紹介、講演依頼などをして、身近な人、親しみの持てる人の体験談などをきき、刺激を受けるプロデュースを自治体、行政でも取り組んでもらいたい。
例えば、最近アメリカのテレビ界のアカデミー賞といわれるエミー賞を、福岡県出身で筑女出身の在米国の山内あや子さんが受賞されました。そういう人の紹介やインタビューをして、これから未来を担う若い人に刺激を与えたいと思います。(70歳以上/女性)
- ・私が住む新宮町では、公共講座についてですが、高齢者や子育て中の親、親子、子供にたいしての講座などは多いが、独身者または高齢でない子なし夫婦にたいしての講座がほとんどなくて、講座の対象者がかなり片寄っているように思います。そびあ新宮のような立派な施設はありますが、あまり活用されていないように思うので、もっと役場主催で性別・年齢・未婚既婚問わず、安価な講座を増やして欲しいと思います、実現のために可能ならば福岡県から新宮町への補助費があったらと思います。(40代/女性)
- ・人生100歳時代に向けて、生涯学習がますます重要になってきますので、さらなる情報発信を期待しています。(60代/男性)
- ・現役だけでなく、リタイア後も高齢者向けに講座受講や資格試験受験での金銭的負担軽減のための補助&支援金支給制度の確立(70歳以上/男性)
- ・自分に合ってるのかな?と思いながら働かされてる人が多く、メンタルヘルスもよろしくない。
しかし他のスキルを勉強する時間も気力もないのが多くの方が抱えている悩み。
もし可能であれば、雇用保険受給者のみではなく、就業している人に対しても「学べる環境」を国が提供してもらえると助かる。
若い世代もミドル世代、定年後の世代それぞれ「働きたい気持ち」の中には「働くことへの不安」があるため、その気持ちに寄り添いつつ、スキルアップや新たな職業への一步をサポートできる部門があればと思う。
働くものが増えることで経済も回ると効率的な気がする。(40代/女性)

高齢者の生涯学習もちろん大事ですが、若者(20代30代)の今の現状に満足してない無職もしくは仕事に生きがいを感じていない若者に、適材適所の一生涯の仕事をおっせんしてあげたいです。学びたい人には学びたいことを県が学費を出してでも学ばせてあげて、安定した収入を確保してあげてほしい。そうする事が県民を生涯学習へと向かわせる一歩だと思う。(70歳以上/女性)

・週に3日、一日6時間働いています。生涯学習によって専門性向上のためずっと勉強をしています。いつまでも働けるように、高齢者への社会的な援助をお願いしたい。身体的な疲労や能力低下を考えた援助がほしい。(60代/男性)

・これまでの生涯学習の概念は、上記のような質問内容だと思うが、「対面形式や費用負担が必要なものは、時代に合わなくなっている」ので、もっとこれからの時代を見据えた質問設定も追加が必要と思う。

例えば、

- ・YouTubeの利活用
- ・SNSの利活用(悪用も多いが、有用も多い)
- ・スマホの利活用
- ・AIの具体的な利活用

などを積極的に利活用できるようにする教育や活動が進めば、生涯学習の概念そのものが変わり、個人個人がもっと豊かな日常生活を送ることができるようになる。

そのような取り組み概念は、需要に対して非常に遅れている。

これが無料で広くできるのは、行政などの公的機関だと思う。(60代/男性)

・学びを得る事は好きです。自分に自信を持ちながら、いきいきと前を向いて生きて行けると思います。地域貢献やボランティア活動にも興味がありますが、現地までの交通費や食事代等を考えると、参加したくても難しい場合があります。ボランティア活動にも県独自の交通費・食事代その他費用の支援やボランティア活動参加ポイントがあれば、楽しく参加出来るのではと考えます。県民が互いに支え合い、助けあって、楽しく、幸せに生きて行ければ素敵だと考えます。(40代/女性)

・生涯学習という言葉は硬くありませんか? 「死ぬまで勉強しろということか! 」とらえてしまう高齢者も少なくないでしょう。学ぶ人たちの目線に立った福岡県独自の短いキャッチフレーズ(メッセージ)を添えるのもいいかもしれません。たとえば「生きる、学ぶ、楽しむ」といったような……(50代/男性)

○その他

・年をとっても積極的に人と触れ合い、頭を使って生活する機運を盛り上げて欲しい。活躍する場面とかボランティアへの参加のお知らせとか。(60代/男性)

・本格的に知識などを身につけたいと思うのですが、講座などを受けようと思うと費用がかかったり、近場では利用できないことも多いです。また、身につけた知識などを活用する場も少ないため、受講料などの費用がかさむばかりとなります。子供たちにお金を使いたいのでもちがが優先的となり、結果自分の生涯学習のための時間や費用は後回しになり、あまり学習できていないのが現状です。(30代/女性)

・生涯学習は「本人が必要に迫られて受講するか」または「本人が受講後に抱く輝ける自分の姿を描くことができるようなもの」であるのが自然です。1990年代・2000年代に流行していた集団で何かを学ぶ「英会話スクール、趣味・ダンス・旅行・教養に関する講座」が現在は非常に衰退しているように思われます。現在はインターネットの普及によって各行動が個人化したというのがありますが、経済的にも余裕がなく、生涯学習に費やす費用・時間の優先度が相対的に低いままのようにも感じます。また、受講後に何か劇的な変化が見られるものというのが少ないため、単発的な受講はあっても継続的な受講は相当難しいように感じています。周囲の人(家族・職場・友達等)が受講していることを知ると感化されて受講する可能性も上がるため、受講が一般化して普及するか、または特定のボランティア活動のように活動前の研修が必須になっているような事前必須講座の形が増加・普及するかが現実的のように思っています。(50代/男性)

・学びたいという気持ちは人それぞれ。幼い頃から学びは楽しいと思うような教育が必要だと感じる。(40代/女性)

これからの時代は多種多様な考え方を持つ者同士が、お互いを尊重しながら話し合える場所が必要かもしれません。こんなに、年代によって考え方や受け取り方に差がある時代は今までになく、難しいと思います。そんな時代だから、あらゆる人達の立場に立って話し合いをまとめる様なコーディネーターが地域や社会にもっと必要だと感じています。考え方が違うからと切り捨てるのではなく、如何にお互いが歩み寄れるのか。また、外国人が入ってくると益々複雑になります。多言語の勉強も必要だと感じています。(60代/女性)

・学習を通して、人とのつながりができるかどうか、長続きの秘訣。(50代/女性)

・学習会に出て学習したい気持ちはあるが、恥ずかしいので中々難しい。(40代/男性)

・今は子育て中で食事や子育てなどしか手が回らないが、落ち着いたら色々学びたいと思っています。たくさんの種類があるといいなと思います。楽しみです。(40代/女性)

・具体的にどのようなものを生涯学習と呼ぶかわからない

また、現状、県や市町村が開催している生涯学習に興味がない。(20代/男性)

- ・仕事が多忙だとなかなか興味があること又は必要なこと以外には手を出しにくい傾向がある。(50代/男性)
- ・職場で福岡県のアドバイザー派遣による研修を計画しています。このような学びの機会があるのはありがたいです。(40代/男性)
- ・自治体の住民のニーズにあったやり方で行うのがベストだと考えていますので、さまざまな意見を取り入れるのがよいと考えます。(30代/男性)
- ・いくら仕掛けがあっても結局は個々が学びたいと思うか、ということに尽きると思います。学ぶ意欲の根本は、興味関心だと思いますが、興味関心を持つためには幼少期に様々な経験を積んでいることが重要かと思います。歳を取った人に学びを押し付けるような施策にならないことを願います。(30代/男性)
- ・会社を退職したら何か始めようと思ってます。(70歳以上/男性)
- ・なかなか子育て中の身には難しいです。興味がある分野の生涯学習が地域のコミュニティセンターなどで実施されていることは把握しているがなにぶん日々忙しすぎて参加できない。子育てが終われば参加したい。(30代/女性)
- ・現役世代は仕事と育児とで精いっぱい、プラスアルファの社会活動に参加する余裕がない。働き方を見直してワークライフバランスを改善しない限り、社会活動や生涯学習に時間をさくことはできないと切実に感じる。(30代/女性)
- ・60歳になり、生涯学習の重要性を再認識しています。(50代/女性)
- ・公民館講座など、長年駆使してきたことはいつも集まる方々、面々が同じ方になっていること。なかなか幅広く伝え参加して貰えるように声をかけていくが難しい。講座後にお弁当を配布するなどの工夫をしてより沢山の方に集まって頂くなどしているが…(60代/女性)
- ・生涯学習について、特に考えてません。健康に対して、日常の運動について考え、実施している。(70歳以上/男性)
- ・生涯学習で自発的意思に基づいて自己の充実や生活の向上に取り組む意識を持つ事はこれからの社会生活を進める中で大変重要な事だと思います。(60代/男性)
- ・私自身、地域学校協同事業の一環で学校に関わっているが、子どもたちからパワーをもらい元気の源だと思っている。生涯学習は赤ちゃんから高齢者まで。自治体の教育委員会は色々な事業をしているが参加者が少ないのは残念である。(60代/女性)
- ・ボランティアとは言っても交通費程度の支給は考えてないと、全く無報酬ではボランティアは増えない。(70歳以上/男性)
- ・今行われている講座以外にもっと興味を引く面白い分野を開拓していく。(60代/男性)
- ・健康で文化的な生活を行うためには、大切である。(50代/男性)
- ・地域では公民館を中心に高齢者向けの講座が盛んに行われています。趣味の講座も数多く開催されています。これまで一度も参加したことは有りません。何かのきっかけが有ればと思いますが一歩が踏み出せずにいます。(70歳以上/男性)
- ・時間や経済的に余裕がないとできないので、できる範囲で学習できればよいと思う。(70歳以上/女性)

「学び」の情報発信

生涯学習情報提供サイト「ふくおか生涯学習ひろば」で次の情報を発信しています。

- 県内の大学や県の施設等が実施している学習情報
- 様々な機関・団体のホームページとリンクして、リカレント教育（学び直し）やスキルアップ、大学の公開講座、ボランティア活動につながる情報を発信

ふくおか生涯学習ひろば

ふくおか 生涯学習

URL <https://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/>



お知らせ NEWS

- 2025年1月8日
【文部科学省】共に学び、まきま共主社会コンファレンスについて
- 2025年1月8日
【福岡県立社会教育総合センター】子育てWEB講座「学童編」(ふくおか子育てパーク)
- 2024年12月20日
【西日本短期大学】2025年度(4月入学生)社会人選抜「申込」受付中!
- 2024年12月17日
福岡県内市町村の生涯学習推進体制等に関する情報を掲載しました。



<https://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/news/detail/fcc0c698-846e-4cca-8a86-90d49aaab074>